

# 燃料価格、急上昇中! 現状把握、信頼関係構築が交渉成功のカギ

燃料価格がここ数年、ジリジリと上昇しています。運送原価のなかでも大きな割合を占める燃料・油脂費(運行費)の低減は、経営上非常に重要です。燃料価格上昇によるコスト負担を抑えるためには、燃料サーチャージの導入や運賃の引上げに向けた取引先(荷主企業など)との「交渉」が欠かせません。その際、いかに現状を把握し、信頼関係を構築しているかが交渉の成否を握ります。

そこで今回は、燃料価格の現状と、取引先との交渉成功に至るまでのポイントについて紹介します。



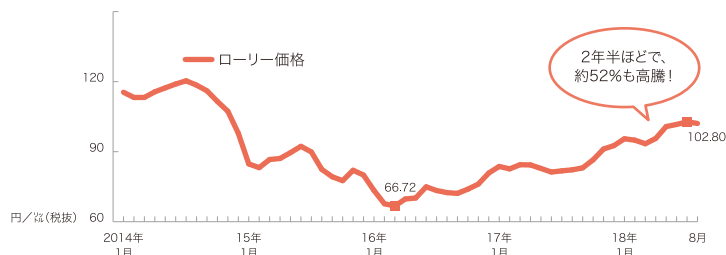
## 2年半で燃料価格が上昇の一途

燃料価格の上昇が止まりません。2016年3月には66.72円(ローリー価格)だったのが、18年7月には102.8円と約52%も上昇しています[グラフ]。全日本トラック協会の「トラック運送業界の景況感(速報)平成30年4月~6月期」によると、運賃・料金の水準は回復基調で推移したものの、燃料価格の上昇、労働力不足に伴う人件費上昇などの費用負担増の影響を

受け、経常損益は悪化していると報告。また今後の見通しとしても、燃料価格上昇や労働力不足などが継続して影響し、経常損益は一段と悪化することが見込まれるとのこと。

燃料価格上昇に伴うコスト負担。これを解消していくために重要になるのが、取引先との適正な取引になっていくでしょう。

[グラフ] 高騰が続く燃料価格の推移(ローリー価格)



出典:(公社)全日本トラック協会「軽油価格推移表(全ト協調べ)」第102回トラック運送業界の景況感(速報)平成30年4月~6月期

## 交渉に成功した事業者の共通点を知る

燃料価格が上昇した場合、燃料サーチャージの導入または運賃の引上げによって対処します。しかしいずれの場合でも、取引先との交渉に至るまでの事前準備が欠かせません。「①現状把握・分析」、「②盤石な

信頼関係の構築」にしっかり取り組んだうえで、交渉することが成功のカギとなります。次にそれぞれのポイントについてみていきましょう。

### ①現状把握・分析

まずは燃料価格の上昇が事業損益に対して、どのような影響があるかを分析しましょう。その際、「運行ルート」「取引先」「事業所」「会社」ごとに算出。取引先との交渉に活用できる、こうしたデータの整理が望まれます。

#### 影響額

燃料価格上昇による影響額を毎月(または毎日)算出し、管理!

#### 運行ルート

・運行ルート、市内配送など、運賃単価ベースで影響額を算出  
・積み合せの場合、平均走行距離により影響額を算出

#### 事業所

・事業所別に影響額を算出

#### 取引先

・荷主企業など取引先ごとに影響額を算出  
・算出結果をもとに、交渉の優先順位を設定

#### 会社

・会社全体で影響額を算出

#### 計算式

影響額の計算方法

影響額を計算する基本の式は、以下の簡易な2つの計算式です。

#### 燃料消費量の計算式

$$\text{走行距離} \div \text{燃費} = \text{燃料消費量}$$

#### 影響額の計算式

$$\text{燃料消費量} \times \text{上昇額} = \text{影響額}$$

#### (例)「運行ルート」別の影響額の算出

【前提条件】

・A地点からB地点まで「250km」走行  
・燃費「5km/L」・燃料価格上昇額「20円」

$$250\text{km} \div 5\text{km/L} = 50\text{L} (\text{燃料消費量})$$

$$50\text{L} \times 20\text{円} = 1,000\text{円} (\text{影響額})$$

### ②盤石な信頼関係の構築

「取引先にとってなくてはならないパートナー」になるため、「事業者を簡単に変更できない」関係を構築することが重要です。そのために必要な取り組みの一例を紹介します。

#### 交渉力を高める信頼関係の構築に向けて

- ①経営者とドライバー(現場)の双方で信頼関係を強固にする
- ②取引先との接点となるドライバーの礼儀作法をしっかりと教育する
- ③高い輸送品質と自社にしかできない差別化したサービスを提供する
- ④何事にも誠実に取引する(信頼を得るには、誠実な取引が基本)
- ⑤取引先からみて、運送事業者を変更できない関係を築く(「おたくの会社じゃなければだめだ」と言ってもらえる関係)
- ⑥具体的に何をすれば信頼を得ることができるか、ドライバーを含め、取引先ごとに具体的な行動計画を立案する など

燃料価格の上昇が続く今、自社の取り組みを改めて確認してみてください。

出典:(公社)全日本トラック協会「燃料価格上昇に対処するための燃料サーチャージ導入等の対応ハンドブック」